

北海道ブロックの社会資本の重点整備方針のフォローアップ

資料3

平成15年10月10日に閣議決定された社会資本整備重点計画を踏まえ、北海道ブロックの現状と課題、その実現に向けた重点事項をとりまとめ、その各事業の達成度をわかりやすく示すために34の指標を設定し、定量的かつ客観的に把握することとした。策定後の5年間（平成15～19年度）の達成状況は、約3/4の項目において目標を達成することができた。

安全・安心な食料の基地としての役割の強化と産業の競争力強化

- ・物流の効率化により、食料の供給基地としての役割を強化
- ・産業の発展に必要な水道用水、工業用水、かんがい用水の確保を推進

- 【主要事業】
高規格道路の整備
ダム事業
多目的国際ターミナルの整備



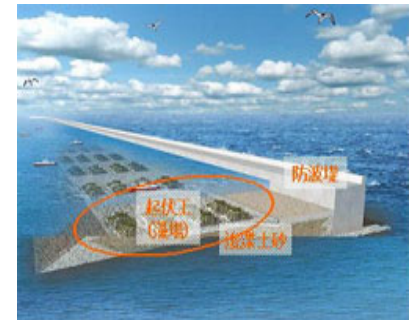
旭川～紋別間の供用状況

- 【指標例】
210分以内に苫小牧港・室蘭港へ到達できる市町村数の割合
【平成14年 59%】【平成19年 目標 63% 実績 63%】(目標達成)

北海道の美しさ雄大さを次世代に引き継ぐ環境の保全

- ・北海道の美しさと雄大さを守るため、蛇行河川の復元や海岸線の保護
- ・交通円滑化対策による渋滞の緩和による環境負荷の低減

- 【主要事業】
海岸保全施設整備事業
釧路湿原の自然再生事業
鉄道との立体交差事業



エコポート事業
(釧路港島防波堤イメージ)

- 【指標例】
水生生物の生息環境の創出
【平成14年 0㎡】【平成19年 目標約7,000㎡ 実績 約7,000㎡】(目標達成)

恵まれた資源を活かした観光大陸北海道の形成

- ・北海道固有の景観や自然など地域資源を活用した美しい景観づくり
- ・空港と高規格道路等を連携させることによる、観光客等の利便性の向上

- 【主要事業】
シーブルー事業(小樽運河)
旅客船等に対応した埠頭の整備
シーニックバイウェイ北海道の推進
空港滑走路延長



賑わいをみせる小樽運河

- 【指標例】
観光客や市民が親しみやすい良好な水際線の提供
【平成14年 0m】【平成19年 目標 約500m 実績 約500m】(目標達成)

北国の安全でゆとりのある快適な地域社会の実現

- ・根幹的な治水対策や土砂災害対策を推進
- ・地震災害時に新千歳空港が緊急輸送拠点としての役割を果たせるように対策中

- 【主要事業】
遊水地事業
耐震強化岸壁の整備
交通事故重点対策事業
防災拠点官庁施設等の整備の推進



大和田遊水地

- 【指標例】
早期に水害被害を軽減すべき緊急対策特定区間における想定氾濫区域内戸数の割合【平成19年 目標 約4割削減 実績 約4割削減】(目標達成)

指標のフォローアップ一覧表(平成15～19年度の達成状況)

項目	No	指標名	初期値 (H14)	目標値 (H19)	実績値 (H19)	目標の 達成状況
安全・安心な食料基地としての役割の強化と産業の競争力強化	1	210分以内に苫小牧港・室蘭港へ到達できる市町村数の割合	59%	63%	63%	達成
	2	道内各市町村から最寄りのターミナルまでの平均距離の削減割合	—	約2割削減	約2割削減	達成
	3	ダムの完成による農地へのかんがい用水の供給面積	0ha	21,400ha	21,400ha	達成
	4	ダムの完成による水道用水の供給量	0m3	70,000m3	70,000m3	達成
	5	ダムの完成による工業用水の供給量	0m3	11,800m3	11,800m3	達成
	6	下水道処理人口普及率	85%	88%	88%	達成
北海道の美しさ雄大さを次世代に引き継ぐ環境の保全	7	釧路湿原において蛇行河川に復元可能な河川延長	0%	14%	茅沼地区の旧川復元工事に着手	未達成
	8	魚類の連続した生息環境の確保	—	141km	141km	達成
	9	汀線防護が完了していない延長	125km	97km	101km	未達成
	10	砂浜の保全・回復延長	97km 212ha	109km 252ha	104km 246ha	未達成
	11	水生生物の生息環境の創出	0m2	約7,000m2	約7,000m2	達成
	12	一般国道の都市部の緑化延長の割合	55%	64%	64%	達成
	13	海に親しめる港湾緑地面積	約80ha	約90ha	約90ha	達成
	14	6圏域中心市圏域における住民一人あたりの年間渋滞損失時間	30時間	削減	29時間	達成
恵まれた資源を活かした観光大陸北海道の形成	15	観光客や市民が親しみやすい良好な水際線の提供	0m	約500m	約500m	達成
	16	親水性施設や海辺へのアクセスを可能にする施設の延長	777km	790km	789km	未達成
	17	中心市街地から埠頭までの徒歩での移動時間	約35分	約20分	約24分	未達成
	18	規格の高い道路を使う割合	4.50%	約6%	5.90%	達成
	19	高速交通ネットワーク等へ10分以内に到達可能な空港の割合	30%	40%	40%	達成
	20	90分以内にジェット化空港へ到達できる市町村数	68%	69%	70%	達成
北国の安全でゆとりのある快適な地域社会の実現	21	210分以内に札幌市へ到達できる市町村数	115	120	123	達成
	22	90分以内に地方センター病院へ到達できる市町村数	143	149	149	達成
	23	1億台キロあたりの交通事故死者数	1.18人	低減	0.76人	達成
	24	事故危険個所対策実施箇所の死傷事故件数	4.1件・年	約3割抑止	約3割抑止	達成
	25	道路通行規制区間の箇所	24箇所 165.2km	16箇所 131.3km	19箇所 156.5km	未達成
	26	雪崩が理由の特殊通行規制区間の箇所	11箇所	9箇所	10箇所	未達成
	27	乗降客の多い旅客施設周辺「75地区」の主な歩行経路においてバリアフリー化された歩道延長の割合	27%	67%	55%	未達成
	28	既存の官庁施設について、身体障害者用エレベーターの整備率(窓口業務をもつ延床面積1,000㎡以上について)	約75%	約100%	97%	達成
	29	早期に水害被害を軽減すべき緊急対策特定区間における想定氾濫区域内戸数の割合	—	約4割削減	約4割削減	達成
	30	緊急避難や緊急物資供給可能な人口	50,000人	220,000人	220,000人	達成
	31	離島フェリーが就航する港湾の耐震強化岸壁の整備率	25%	50%	50%	達成
	32	沿岸部の津波・高潮・侵食危険地帯における安全性の確保	135,900人 11,660ha	148,000人 12,640ha	144,000人 12,320ha	未達成
	33	既存の防災拠点となる官庁施設について、総合的な耐震改修の実施率(3階建以上かつ延床面積1,000㎡以上について)	約65%	75%	90%	達成
	34	全重要港湾12港の外国貿易対応埠頭において、SOLAS条約(海上における人命の安全のための国際条約)の改正に対応した保安施設(フェンス、監視カメラ等)の整備率	0%	100%	100%	達成